

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年3月

学校法人 常盤学園
新屋幼稚園
西町幼稚園

1. 本園の教育目標 意欲をもって頑張る子
・生き生きと活動する子 ・思いやりのある子、感動する子、健康な子
2. 本年度重点的に取り組む目標・計画
・幼児の主体性を伸ばす教育の実践をする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育要領改訂に伴い教育課程を見直し、改善を図る	B	昨年度できなかった本園の教育課程の内容との照らし合わせをする中で、見直し、冊子作成に取りかかっている
2	教育の質向上のために、園内外の研修を充実させる	A	新型コロナウイルス感染防止の為、園外での研修参加はできなかったが、その分園内で職員が主体性をもって研修プログラムを進め、話し合い、一人ひとりの幼児理解と保育の在り方、環境設定等の話し合いをもち実践を目指せた
3	発達支援を要する園児の支援と保護者との相談をしていく	A	焼津市の巡回相談と繋がりを持ち、その子に合った幼児理解と支援を行ってきた 保護者と連携を密にし、園と家庭と連携しながら支援してきた
4	安全管理	A	新型コロナウイルス感染防止に努め、できることをできるように配慮し、環境を整え、行事等にも工夫して感染防止対策を行った

評価 (A…十分に成果あり B…成果あり C…少し成果あり D…成果なし)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	昨年度の教育要領改訂から話し合いを進める中で、本年度になり教育の実践に取り組む目標を立てた。幼児に主体性を求めるばかりでなく、保育者自身が主体的に話し合いに参加し、自分の意見を言うよう努力してきた。反省する保育者もいたが、職員で話し合いを計画し、議論研究ができたことはとても大きい。又、そのことを通して教育の実践に向けた課題も明確になった

評価 (A…十分に成果あり B…成果あり C…少し成果あり D…成果なし)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	職員間の連携	環境構成、一人ひとりの幼児の発達について話し合いを大切にし、自分の意見(気持ち、考え)を発言し、共通理解をもって保育の資質向上を目指す 自らが学ぶ姿勢をもっていく
2	安全管理	緊急事態発生に備えて危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、避難訓練の強化、手洗い、うがい、マスク着用等の消毒の徹底に配慮(気を配る)する
3	保護者との連携	緊急事態発生への連絡を密にする 発達支援が必要な園児の保護者との連携、相談をしていく 園児一人ひとりの生活の様子等を連絡(スクールバス児)を密にしていくことで、園児の気持ちを共有できるようにする

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・新型コロナウイルス感染防止対策では、教職員が充分配慮しながら取り組み、保育されている様子が見え、今までやってきた行事(発表会・遠足・運動会・卒園式・入園式等)を残しつつ内容、方法を変えながら幼稚園生活が楽しい思い出に残るように取り組んでくれている事を本当に嬉しく思う。
- ・少子化の中でも発達支援が必要な園児も年々増えている。保育者を手厚くし、一人ひとりの幼児と関わりを大切にし、建学の精神、創設者の思いを大事にして頂きたい。